

地域医療の連携推進事業（がん医療機器等整備事業） （総合確保基金分）

1. 事業目的

「島根県がん対策推進計画（計画期間H30(2018)～35(2023)年度」の数値目標「がんの年齢調整死亡率の低減」を実現するため、がん医療提供体制及びがん検診体制の強化を図ることにより、がんの早期発見・早期治療につなげる。

実施主体	医療機関
対象機器	がん医療機器またはがん検診機器
補助要件	①高度ながん医療の提供に資すること
	②がん診療の地域連携に資すること
	③がん検診の受診機会の増に資すること
補助率	2/3

2.H30の事業内容

計画では、費用対効果に優れた持続可能ながん対策を推進するという観点から、がんの早期発見に重点を置いている。がん検診体制の強化を図るためには、

- ①死亡率低減効果が科学的に実証されている検査方法によるがん検診の実施
- ②がんに罹患することで社会的に影響が大きい働き盛り世代（40歳～64歳）の受診率向上に取り組む必要がある。

なお、県内女性のがん罹患割合で一番多いのは乳がんであり、乳がんの早期発見を可能にすることが緊急の課題である。

①マンモグラフィー検査法の実施

⇒県内で乳がんの罹患率が一番多いのは出雲圏域であること、他圏域からの検診受診者の流入が多いことから出雲圏域に整備

②働き盛り世代の受診機会の拡大

⇒平日の実施はもちろん、仕事や子育てに多忙な女性が受診しやすい土日も実施する必要があるが、出雲圏域で対応できるのは検診に特化した機関であるヘルスサイエンスセンター島根しかない

事業主体 ヘルスサイエンスセンター島根
対象機器 マンモグラフィー機器
事業費 28,500千円（補助率 2/3）

HSCでのマンモ受診件数	
H26	1,671件
H27	1,862件
H28	1,963件
H29	1,001件（上半期）

今後のスケジュール

- H30.2 島根県がん対策推進協議会で報告
H30.3 島根県地域医療支援会議、島根県がん診療ネットワーク協議会で報告
H30.3～4 厚生労働省へ基金計画を提出
H30.6以降 基金国内示を受け、県内示
H30～31 整備、運用開始